

## 6年度 モニタリング結果報告書


## 1 活動の目標等

タイプ名：	地域環境保全タイプ
目標：	間伐により、下草が生える明るい人工林を取り戻す。 3年後の相対幹距比2.6ポイントアップしSr=15.6とし、風倒木を0本にする。
モニタリング調査方法：	① 木の込み具合調査（相対幹距比Sr） ④風倒木の本数調査


(\*モニタリング調査のガイドラインP17:人工林での目標設定(参考)を参照)

(\*モニタリング調査のガイドラインP64:相対幹距比(Sr)早見表を参照)


## 2 活動実施前の標準地の状況（6年度）

標準地の状況を記載	林内は過密で風倒木等が見られる。 上層木の平均樹高は16m、100㎡ 当たり立木本数は23本、相対幹距 比Sr=13.0。  風倒木は活動対象森林全体で40 本。	
-----------	---	---


## 3 活動計画1年目の標準地の状況（6年度）

標準地の状況を記載	林内の間伐実施後の立木本数は20 本、相対幹距比Sr=14.0。風倒木は 20本処理。	
目標達成度	相対幹距比: 38.4% 風倒木処理: 50%、	計算式: Srアップ <sup>°</sup> (14-13)÷2.6(ポイントアップ <sup>°</sup> )=38.4% 風倒木処理 20本÷40本=50%
次年度に向けた改善策	引続き安全作業に努め、風倒木処理 等と間伐を進める。	・標準地野帳を添付

## 4 活動計画2年目の標準地の状況（7年度）

標準地の状況を記載	林内の間伐実施後の立木本数は18 本、相対幹距比Sr=14.7。風倒木 は20本処理。	
目標達成度	相対幹距比: 65.3% 倒木処理: 100%、	風 計算式: Srアップ <sup>°</sup> (14.7-13.0)÷2.6(ポイントアップ <sup>°</sup> ) =65.3% 風倒木処理 (20本+20本)÷40本=100%
次年度に向けた改善策	引続き安全作業に努め、風倒木処理 等と間伐を進める。	

5 活動計画3年目の標準地の状況（8年度）

標準地の状況を記載	林内の間伐実施後の立木本数は16本、相対幹距比 $Sr=15.6$	
目標達成度	相対幹距比: 100%	計算式: $Sr_{\text{アップ}}(15.6-13) \div 2.6(\text{ポイントアップ})=100\%$

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。